

平成28年度 事業別予算概要

事業名	71100	道路河川等整備推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	市長公約	誰もが気軽に速く出かけられたり、訪れやすくするために、JR高山本線、北陸新幹線、高速バスなどの広域公共交通網としない公共交通網のネットワークを充実します。
	款			7	土木費	基本分野		5	基盤・安全				
担当課	基盤整備部 建設課		内線	項	1	土木管理費	H28実施計画額	分野	2	道路	3,300 千円	道路河川等整備推進事業	
	2321	目		1	土木管理費	施策概要		1	幹線道路ネットワークの構築				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	<ul style="list-style-type: none"> 国、県道の整備促進により、市道を含めた幹線道路網が構築され、便利で快適に道路が利用されている。 河川の整備促進により、災害から市民の生命財産が保護されている。 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 同盟会等を活用し、事業主体である国及び県等に対して、事業促進に向けた要望・提言活動を行う。
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		<ul style="list-style-type: none"> 社会基盤施設の整備促進に向け、国、県等へ3回(7月、10月、1月)要望書を提出し、事業促進を提言した。 						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
		要望・提言活動の回数	回	目標値	3	3	3	3
	算出根拠等	実績(見込)		3	3	3		
		達成率(%)		100	100	100		
	算出根拠等	目標値						
		実績(見込)						
	算出根拠等	達成率(%)						
		目標値						
	算出根拠等	実績(見込)						
		達成率(%)						
	算出根拠等	目標値						
		実績(見込)						
算出根拠等	達成率(%)							
	目標値							
算出根拠等	実績(見込)							
	達成率(%)							
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 各同盟会活動の必要性や役割を検証し、活動内容の見直しなどの検討を行い、同盟会負担金の低減を図る必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨地域内の自治体及び関係同盟会と連携した広域的な要望・提言活動の実施について調整を図る
次年度の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	<ul style="list-style-type: none"> 社会基盤の早期整備に向け、関係機関と連携した要望・提言活動の実施に努める。 同盟会活動の効率的で効果的な実施に向け、関係機関と広域的な活動の実施に努める。
二次評価	<ul style="list-style-type: none"> ○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	<ul style="list-style-type: none"> 設立目的の達成度合いに応じて組織の活動内容を見直すことができるよう、関係機関と協議を行う必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,285	3,329	3,343	4,370
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	36	36	37	48
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 同盟会等へ負担金を支出し、国・県への要望・提言活動を行う年3回(7月・11月・1月)予定 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容の見直しの検討を行い、同盟会負担金の低減を図る。 	事業実施の課題
------	--	---------	--	---------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	3,343	4,370	1,027	4,378	4,378	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	3,343	4,370	1,027	4,378	4,378		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	72300	道路新設改良事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市橋りょう長寿命化修繕計画	市長公約	環境対策 安全に暮らせる環境づくり 市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー（道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設）各種公共施設の整備を進めます。
	課			7	土木費	基本分野		5	基盤・安全		実施計画事業		
担当課	基盤整備部 建設課		内線	項	2	道路橋りょう費	分野	2	道路	H28実施計画額	570,000	千円	
				2328	目	3		道路新設改良費	施策概要		2	災害に強い道路整備の推進	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	<ul style="list-style-type: none"> 大規模地震時の避難ルートや緊急輸送路が確保されている 老朽化した橋りょうの架け替えなどにより、地域道路網の安全性と信頼性が確保されている。 長寿命化の推進や整備コストの縮減が図られ、維持管理などの負担が軽減されている。 地域の要望に応じた道路整備が行われ、地域交通の安全性が向上している。 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 道路の新設、幅幅改良、歩道設置 橋りょうの架け替え、耐震補強、長寿命化修繕 道路用地の取得
	対象者数	90,938					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 市道昭和3号線他1路線、市道上切中切2号線の一部が完成した。 道路線形等について地域との合意形成を図り、用地取得を実施した。 橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの長寿命化修繕工事及び耐震補強工事(中橋他)を実施した。 						
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
		道路改良等完成延長	m	目標値	900	426	671	530
	算出根拠等		実績(見込)	797	346	455		
	達成率(%)		89	81	68			
	活動指標	指標名	単位	目標値	1,746	518	3,040	785
		道路用地取得面積	m ²	実績(見込)	1,837	219	2,286	
	算出根拠等		達成率(%)	105	42	75		
	活動指標	指標名	橋	目標値	10	5	6	8
		橋りょう整備数		実績(見込)	9	3	4	
算出根拠等		達成率(%)	90	60	67			
成果指標	指標名	箇所	目標値	2	0	0	0	
	橋りょう整備によって孤立対策を実施した集落数		実績(見込)	2	0	0		
算出根拠等		達成率(%)	100					
成果指標	指標名	%	目標値	78	79	67	72	
	道路用地取得率 H26まで(千島松本線・下林下岡本線・石浦飯山線・昭和3号線・上切中切2号線)、H27から(千島松本線、上切中切2号線、千島松本線)		実績(見込)	78	78	65		
算出根拠等	取得済事業用地面積/取得予定事業用地面積		達成率(%)	100	99	97		
補足	指標名		目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 用地交渉の難航については、継続して地権者の理解が得られるよう取り組む必要がある。 新工法の積極的採用や耐久性を考慮した使用材料の選定等により、継続してさらなるコスト縮減に努める必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 継続した用地交渉を行っている。 コスト縮減に寄与する材料や工法の調査及び積極的採用に取り組んでいる。 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 地権者との交渉を継続して行うとともに、引き続きコスト縮減を図りながら、計画的な事業推進(重要度の高い施設の優先的整備)を図る。 将来の負担を軽減する橋りょうの老朽化対策を計画的に推進する。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 新たな事業については事前評価を行い、投資効果や整備手法などを十分検討したうえで実施する必要がある。 コスト縮減にあたっては、初期整備に係る経費だけでなく、整備後の維持管理経費や将来的な更新費用なども含めた総合的な視点から取り組む必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	928,805	390,703	864,300	781,590
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	10,085	4,265	9,504	8,595
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 橋りょう耐震補強及び長寿命化修繕 村上田頃家線(村上橋) 福地線(百合見橋) 千島線 千島松本線 上切中切2号線 ほか 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 橋りょう耐震補強等 村上田頃家線(村上橋) 福地線(百合見橋) 千島線 	<ul style="list-style-type: none"> 高山市橋りょう長寿命化修繕計画に基づく事業の計画的実施(耐震補強、修繕) 国との協定に基づく事業の計画的な実施 高山市橋りょう長寿命化修繕計画に基づく事業の計画的実施(架替、耐震補強) 国の国道41号交差点改良と協調した事業実施 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 地権者の理解を得るための継続した交渉 施工方法の検討による更なるコスト縮減 国事業との調整による事業進捗
------	---	---------	--	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	864,300	781,590	△ 82,710	646,290	646,290	道路整備計画に基づき、事業内容を精査	財務部査定のとおり
	国庫支出金	423,500	399,410	△ 24,090	338,250	338,250		
	県支出金			0				
	その他	5,600	5,400	△ 200	5,400	5,400		
	一般財源	435,200	376,780	△ 58,420	302,640	302,640		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	72390	県営土木事業負担金	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	市長公約
	課			7	土木費	基本分野		5	基盤・安全			
担当課	基盤整備部 建設課		内線	項	2	道路橋りょう費	実施計画事業	分野	2	道路	H28実施計画額	70,000 千円
	2321			目	3	道路新設改良費		施策概要	1	幹線道路ネットワークの構築		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	・国、県道の整備促進により、市道を含めた幹線道路網を構築し、便利で快適な道路利用を図る。 ・急傾斜地等の整備促進により、災害から市民の生命財産の保護を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・市内で、県が実施する事業への受益者負担の支出
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・負担金額 51,349千円 高山土木事務所管内 44,784千円 一般国道361号(高根町、朝日町地内)、一般県道御岳山朝日線(朝日町地内)他 古川土木事務所管内 6,565千円 主要地方道園府見座線(園府町、上宝町地内)、一般県道古川宇津江四十八滝園府線(園府町地内)他						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
成果面	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
算出根拠等		目標値					
		実績(見込)					
算出根拠等		達成率(%)					
		目標値					
算出根拠等		実績(見込)					
		達成率(%)					
補足	・市道との一体的な道路網の構築及び安全な市民生活の確保が図られている。						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・事業進捗については、県の予算配分等に左右されるため、管内の予算確保に向けた取り組みを図る必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H27対応状況	・予算確保と円滑な事業実施について、土木事務所に要望を行う。	
次年度の 実施方針	〇 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・地域の生活環境向上に必要な社会基盤施設の早期完成に向け、県へ要望するとともに事業の調整を図る。
	〇 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	55,467	51,349	70,000	70,000
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	602	561	770	770
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	県が実施する土木事業に伴う地元負担	要求の ポイント	事業実施の 課題

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源 内訳	歳出(千円)	70,000	70,000	0	70,000	70,000	・要求どおり ・財務部査定のとおり	
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	一般財源	70,000	70,000	0	70,000	70,000		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	74300	街路事業費	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画		市長公約	環境対策 安全に暮らせる環境づくり 市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)各種公共施設の整備を進めます。
担当課			款	7	土木費		基本分野	5	基盤・安全		実施計画事業		
		内線	項	4	都市計画費	分野	2	道路	H28実施計画額	206,800	千円		
		2328	目	3	街路事業費	施策概要	1	幹線道路ネットワークの構築					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・高山駅周辺の都市計画道路において、歩車道分離による歩行者の安全確保と車線部の2車線化による快適な通行の確保を図る。 ・無電柱化事業により、駅周辺の良好な景観形成と大規模地震時の電柱倒壊等からの安全確保を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	道路の拡幅改良、歩道設置、無電柱化 ・都市計画道路西之一色花岡線 ・都市計画道路高山駅東口線
	対象者数	90,938					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・都市計画道路西之一色花岡線の工事及び用地取得を一部実施した。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	道路整備延長	m	目標値	116	280	360	360
		実績(見込)		118	0	186		
		算出根拠等		達成率(%)	102	0	52	
	活動指標	道路用地取得面積	㎡	目標値	1,182	995	648	703
		実績(見込)		716	924	128		
		算出根拠等		達成率(%)	61	93	20	
	活動指標	用地取得契約件数	件	目標値	8	7	6	5
		実績(見込)		4	5	2		
		算出根拠等		達成率(%)	50	71	33	
	成果指標	道路用地取得率(昭和中山線・西之一色花岡線)	%	目標値	91	100	85	95
		実績(見込)		83	99	69		
算出根拠等		取得済事業用地面積 / 取得予定事業用地面積		達成率(%)	91	99	81	
補足			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・用地取得の難航については、継続して地権者の理解が得られるよう取り組むとともに、収入手続きの導入を検討する必要がある。 ・新工法の積極的採用や耐久性を考慮した使用材料の選定等により、継続してさらなるコスト削減に努める必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・継続した用地交渉を行っている。 ・コスト削減に寄与する材料や工法の調査及び積極的採用に取り組んでいる。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大	・地権者との交渉を継続して行うとともに、引き続きコスト削減を図りながら、計画的な事業推進(重要度の高い施設の優先的整備)を図る。
	縮小	
	○維持・改善 拡大	
	縮小	
二次評価	・財源確保に向けた国・県等への働きかけを積極的に行いながら、計画的な事業推進に努める必要がある。	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	347,717	647,400	650,774	498,054
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3,776	7,067	7,156	5,477
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・西之一色花岡線 ・高山駅東口線	要求のポイント	・高山駅周辺土地区画整理事業の進捗と協調した事業の計画的実施	事業実施の課題	・地権者の理解を得るための継続した交渉 ・施工方法の検討による更なるコスト削減
------	---------------------	---------	--------------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	650,774	498,054	△ 152,720	506,754	506,754	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
国庫支出金	357,500	273,515	△ 83,985	278,300	278,300		
県支出金			0	0	0		
その他	100,000	82,050	△ 17,950	100,050	100,050		
一般財源	193,274	142,489	△ 50,785	128,404	128,404		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	74400	中部縦貫自動車道等推進事業費	会計	1 一般会計	基本目標	5 安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画		市長公約
			款	7 土木費	基本分野	5 基盤・安全	実施計画事業	中部縦貫自動車道整備促進事業	
担当課		基盤整備部 建設課	項	4 都市計画費	分野	2 道路	H28実施計画額	1,600 千円	
		内線	目	4 中部縦貫自動車道等推進費	施策概要	1 幹線道路ネットワークの構築			
		2321							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・中部、関東、北陸圏域への人、物の移動を円滑にし、快適で利便性の高い生活を確保する。	概要	事業の実施手法(手段)	・同盟会を活用し、事業主体である国、県等に対して、事業促進に向けた要望・提言活動を実施 ・長野県の関係自治体と連携し、建設促進に向けた要望・提言活動を実施 ・民間推進団体の建設促進に向けた要望活動や市民への啓発活動に対し、補助金を交付 ・事業箇所の住民説明会の開催及び国、県と事業関係者との事業調整
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中部縦貫自動車道(高山IC～丹生JIC)間の一部で改良工事、橋りょう上下部工を実施 ・中部縦貫自動車道及び国・県道の事業促進に向けた要望活動の実施 ・事業主体である国、県が開催する地域住民への説明会や調査・測量立会への参加、協力 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	要望・提言活動の回数	回	目標値	3	3	3	3
		実績(見込)		3	3	3		
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	・事業実施に際し、地元関係者への説明会開催に参加するとともに事業調整を実施し、円滑な事業推進に向けた協力を行っている。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・関係団体との活動内容の統合等による事務費の節減等について検討する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・事務費の節減等について検討する。	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・早期整備促進に向け、関係団体と連携した要望・提言活動を今後も継続して実施する。 ・事業主体と協力した住民説明会の開催や事業調整の実施により、事業の促進を図る。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	3,510	722	1,550	1,650
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	38	8	17	18
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・同盟会で行う要望・提言活動への負担金支出 ・国・県等への要望・提言活動 年3回(7月、11月、1月)予定 ・民間推進団体への補助金交付 	要求のポイント	・中部縦貫自動車道等の整備促進に必要な経費の確保	事業実施の課題	・早期整備促進のための有効な要望活動の実施
------	--	---------	--------------------------	---------	-----------------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	1,550	1,650	100	1,550	1,550	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,550	1,650	100	1,550	1,550		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	96110 過年土木施設災害復旧事業費	会計	1 一般会計	基本目標	5 安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画		市長公約	
		款	10 災害復旧費	基本分野	5 基盤・安全	実施計画事業			
担当課	基盤整備部 建設課	項	1 土木施設災害復旧費	分野	2 道路	H28実施計画額		千円	
	内線 2328	目	1 過年土木施設災害復旧費	施策概要	4 生活に身近な道路の環境の向上				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民	どうしたいのか(意図)	平成26年8月豪雨災害によって流出した橋りょうが架け直され、集落の孤立が解消されるなど、地域の道路が安全で快適に利用されている。	概要	事業の実施手法(手段)	橋りょう架設工事を実施する。
	対象者数 90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28	
成果面	活動指標	橋りょう復旧述べ数	橋	目標値			2	2	
				実績(見込)			2		
		算出根拠等		達成率(%)			100		
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)					
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)					
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)						
補足	橋りょう架設数は2橋(宮前橋、河渡橋)、平成28年度完成予定								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況			
次年度の 実施方針	一次評価	維持・改善	
		拡大	
	二次評価	縮小	
		廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)		(A)		79,500	115,500
	受益者1件当たり(円)		(A/B)		874	1,270
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)		90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・宮前橋 ・河渡橋	要求のポイント	・河川管理者である県と協調した橋りょう災害復旧事業の計画的実施	事業実施の課題	・河川区域内工事のため、工事期間に制約(湯水期のみ工事が可能)がある中での早期事業完了
------	--------------	---------	---------------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	79,500	115,500	36,000	115,500	115,500	・要求どおり	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	49,100	72,828	23,728	70,200	70,200		
	県支出金			0				
	その他	15,000	21,000	6,000	21,000	21,000		
	一般財源	15,400	21,672	6,272	24,300	24,300		